

CONTENTS

巻頭言

- 1 復興の新たなステージへ向けて
福島県知事 内堀 雅雄

ZOOM UP

- 2 **世界に飛び出せ！～次世代の挑戦～**
- 2 日本若者よ、世界へ出よう：留学の勧め
国際教養大学教授・図書館長 勝又 美智雄
- 4 現代の長州ファイブたち ロンドンにて 150 年前の偉業・足跡をたどる
～萩市・日英学術交流 150 年記念ロンドン大学研修～
萩市企画政策課国際交流係主査 景由 孝雄
- 6 岩手県の国際人材育成の取り組み～グローバルいわて推進事業～について
岩手県環境生活部若者女性協働推進室
- 8 オーストラリアの国際化人材育成
(一財)自治体国際化協会シドニー事務所所長補佐 小池 智広 (総務省派遣)
- 10 韓国自治体による青年海外就職支援について
(一財)自治体国際化協会ソウル事務所
- 12 グローバル人材を育てる英語ディベート
(一財)自治体国際化協会総務部企画調査課
- 14 クレア職員が語る「私の海外経験」
(一財)自治体国際化協会総務部企画調査課

表紙写真



約 150 年前「長州ファイブ」「薩摩スチューデント」として英国に留学し、日本の近代化に大きく貢献した伊藤博文や五代友厚らの偉業をたたえ、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (以下 UCL) では、2013 年から「日英学術交流 150 周年記念事業」を開催。

この事業の集大成として、2015 年 7 月に、高校生を対象に英国での教育を体験する「UCL-Japan ヤングチャレンジ」が行われた。メインイベントである「UCL グランドチャレンジ」シンポジウムには日本側約 70 人と英国側約 30 人の総勢 100 人の学生が参加し、「異文化交流」をテーマに日英の文化比較や世界の今後について意見交換し、グループごとに発表した。当日は英語とともにジェスチャーやイラストを駆使して、活発な議論を行っていた。

3 月号の目次および特集 (p.7-9) において、次のとおり誤りがありました。以下のとおり訂正し、お詫びいたします。

記事のタイトル、写真の説明文など
誤 大邸
正 大邸

CLAIR トピックス

- 16 イベント情報・活動報告

国際化の最前線から

- 18 インバウンド施策成功のために地域がやるべきこと
～情報発信者の目線から～
和テンション株式会社代表取締役 鈴木 康子

現場レポート

- 19 地方自治体の連携・サポート組織
(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所次長 浅田 努 (愛知県派遣)
- 22 福岡市の国際貢献・国際協力の取り組み
～官民連携したビジネス展開に向けて～
福岡市総務企画局国際部 長内 典行
- 24 ヤンさんと地域日本語教育
(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課 主事 加藤 康一郎
- 26 国内外の災害で苦しんでいる人々のために
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会理事・事務局長 徳光 一博

JET からの手紙

- 28 徳島での美しい経験
徳島県三好市 ALT Lee Darnell (リー・ダーネル)

驚クレアな体験談 ～World 見聞録～

- 31 地下鉄のストライキは日常茶飯事？
(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所所長補佐
高坂真理子 (宮城県仙台市派遣)
- 32 ニューヨーク事務所での勤務を振り返って
公立大学法人滋賀県立大学国際化推進室主幹 前田 正志